

研究主題

「自ら考え、学び続ける生徒の育成」

～探究的な学習を通して～

奥州市立江刺東中学校
研究主任 田村 敬 済
mail:tamura-t@edu.city.oshu.iwate.jp

1 主題設定の理由及び研究の目標

「進んで学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる人」
社会の変化に主体的に対応できる心豊かな人間の育成を
目指している。

学校教育目標

総合的な学習の時間を中心とした探究的な学習の在り方を見直し、単元構成の工夫をすることで「自ら考え、学び続ける生徒」の具現化を目指す。

教育の今日的課題

「学習の基盤となる資質・能力」

言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等

問題発見・解決に必要な探究的な学習

①課題の設定 ②情報の収集 ③整理・分析 ④まとめ・表現
といった探究のプロセスの充実

生徒の実態

「協働的な問題解決の経験不足」

小規模の小学校から入学しているため仲間と問題を
解決する経験が少ない。

総合的な学習の時間において、例年決まった体験
活動や学習活動が展開されている。生徒の課題意識
に基づく主体的な学習に改善することが必要。

2 研究の手立て

- ① 育成を目指す資質・能力の明確化
- ② 探究のプロセスを大切にした単元作り
- ③ 振り返りの工夫

3 研究の実際 ① 育成を目指す資質・能力の明確化

「中学校学習指導要領(平成29年度告示)第4章 総合的な学習の時間」より

第1 目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

概念的知識を含め、3年間または単元での資質・能力を明確にするために、全体計画や各学年の単元計画などを作成しました。

3 研究の実際 ② 探究のプロセスを大切にした単元作り

1年 【働く】

「働く意味を考える」

×

「職場訪問」
「被災地訪問」

2年 【生きる】

「生き方を考える」

×

「職場体験」
「盛岡自主研修」

3年 【創る】

「持続可能な地域の創生」

×

「東京修学旅行」
「地域活性化プロジェクト」

会
課

- ① 課題の設定
- ② 情報の収集
- ③ 整理・分析
- ④ まとめ・表現

■ 自らの考えや課題
が新たに更新され、
探究の過程が繰り
返される。

3 研究の実際 ③ 振り返りの工夫

振り返りの目的

「自らの学びを意味付けたり，価値付けたりしながら学びを自覚すること。」

視点1

事象の振り返り



視点2

自己の振り返り(自己変容の自覚)

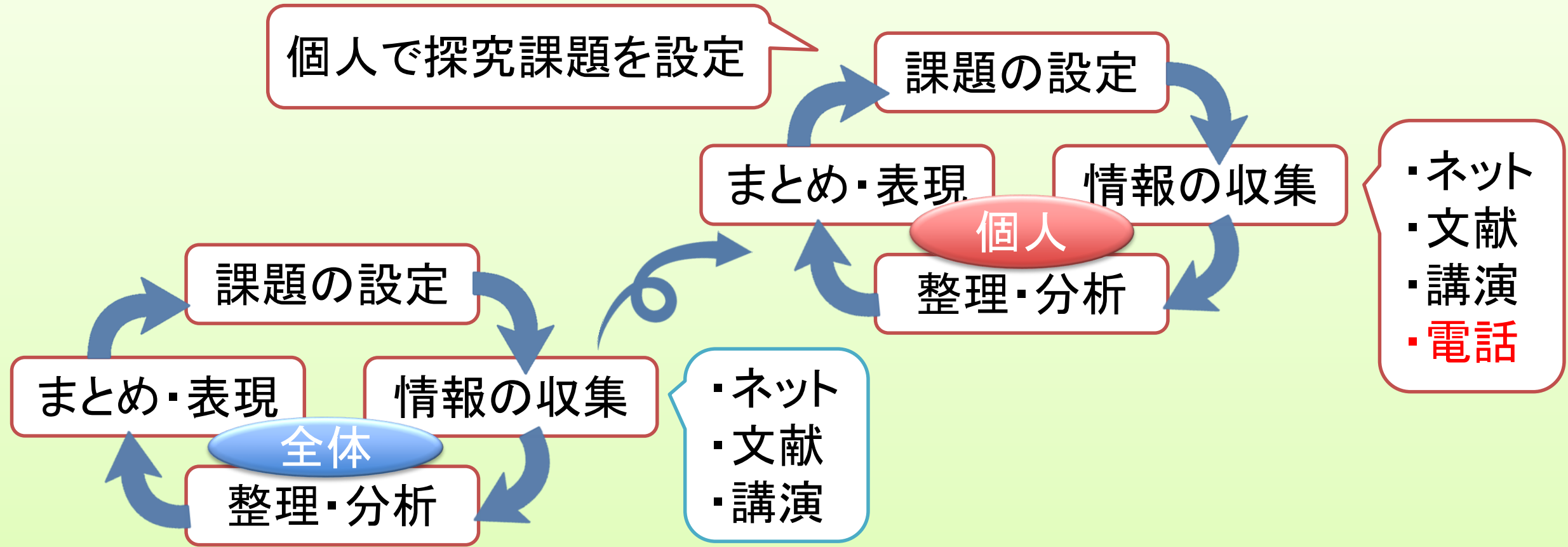


生徒が上記のような実感を伴った振り返りをするためには，憧れの人との交流などといった本物の人やこととの出会い等，探究のプロセスの充実も必要不可欠であると考え。

4 実践事例

知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
<ul style="list-style-type: none">・多様な方法で情報を収集することができない。 <div data-bbox="50 582 1625 878"><ul style="list-style-type: none">・調べた情報を関連付けて考えたり, 統合的に考えたりすることで新たな概念知識を獲得する力が弱い。</div>	<ul style="list-style-type: none">・物事を深く考えずに答えを導き出そうとする。 <div data-bbox="912 921 2484 1216"><ul style="list-style-type: none">・探究のプロセスの経験や自覚が足りない。 (特に整理・分析場面)</div>	<ul style="list-style-type: none">・仲間と協働して問題を解決する経験が少ない。

4 実践事例



働く意味の多様性を理解したり、探究のサイクルを複数回経験したりすることにより資質・能力の育成を目指す

R1 第1学年 何のために働くのだろうか？～働く意味を考える～

4 実践事例

単元構想図

情報の収集、整理・分析		まとめ	課題の設定	情報の収集、整理・分析				まとめ・表現				
【時間配分】	2	6	15	2	1	6	6	3	3	1	4	1
【活動の形態】	全体	個人	全体	グループ	個人	全体	個人	全体	個人	個人・グループ・全体		
<p>総合的な学習の時間についてイメージをふくらませる。</p> <p>小単元1 働く人から「働く意味」について考えよう。</p>	<p>興味・関心のある職業について調べる。</p> <p>視点①「仕事内容」について</p> <p>視点②「収入」について</p> <p>視点③「やりがい」について</p> <p>視点④「苦勞」について</p> <p>視点⑤「必要な資格」について</p> <p>視点⑥「社会貢献度」について</p> <p>...</p>	<p>調べたことを整理・分析する。</p> <p>胆江日日新聞社・岩手日報・テレビ岩手の記者の取り方や質問の仕方を学ぶ。</p> <p>さいとう製菓・八木澤商店を訪問し、震災から復興へ目指し、持続可能な街づくりに必要なことを学ぶ。</p> <p>様々な情報から働く意味についてつながることについて考え、交流する。</p>	<p>個人</p> <p>個人の探究課題</p>	<p>課題「働く人の力や責任は何か。」</p> <p>課題「仕事で目標にするものは何か。」</p>	<p>多様な調査方法</p>	<p>Cygamesの「働く意味」について考える。</p> <p>「働く意味について考える」</p>	<p>働く意味について考える。(本時)</p>	<p>これまでの生活に活かせることについて考える。</p> <p>振り返り、学級発表をする。</p>	<p>振り返り、学級発表をする。</p>			

R1 第1学年 何のために働くのだろう？～働く意味を考える～

4 実践事例

- ・個人でまとめた働く意味を発表し、グループで交流する



働く意味は「**技術を高める**」ことだと思います。

仙台図書館の方が電話インタビューでおっしゃっていたのですが、仕事とは、その**仕事一筋で道を極める**ことが大切とおっしゃっていました。

追究することがやりがいになるのだと思います。

4 実践事例

・グループの発表を基に，働く意味を分類し，全体交流をする



「やりがい」「達成感」「技術を高める」
「お金」「感謝の言葉」「人の役に立つ」
「自分のため」「持続可能な社会を作る」など



R1 第1学年 何のために働くのだろうか？～働く意味を考える～

4 実践事例



人のために働くと考えている人に聞きたいのですが、その前に自分のことはどうでもいいのですか？

自分の夢とかを達成して、働いた上で目標にすることとして人のために働くということです。



だったらまずは自分のことを目標に置いたほうがいいんじゃない？

いや、そこはクリアーした上で…



何でクリアーする前提で考えているの？（話し合いが停滞）

4 実践事例



今、話を聞いていると、「自分のため」の先に「人のため」という考えがあるけど、これは完全に区切れている話なの？

いいや、違う…



例えば、自分のことをクリアできない人は人のためには働けないの？

いったりきたりして
いるんじゃない？



どっちも大事なんじゃない？

4 実践事例

- ・働く意味について再考し，個人で記述をする。




働く意味は**持続可能な社会をつくる**ためだと思います。年や仕事を重ねるうちに**目標は変わるかもしれない**。持続可能というのは家族のためにもそれ以外の人のためにもなれると思う。(中略)**持続可能な社会ってというのはみんなの思う働く意味の前提になる**と思うからです。

僕が考える働く意味は**どれのためでもある**と思います。お金のために働いても人の役に立つことだってできるし、やりがいのために働いたとしてもお金はもらえるだろうし、**全てが繋がっているような気がする**からです。




4 実践事例


・生徒の振り返り例



最初は「お金のため」以外に思いつきませんでした。クラスの人意見や実際に働いている人に聞いて考えがかなり広がりました。最後は自分が納得できる考えにたどり着いたのでよかった。成長が感じられた。



今回「働く意味」について話し合っ最初は皆お金のためという案が多かったけれど、今話し合くと、様々な案が出てきて、最終的に「働く意味」って何だろう？と最初の段階に戻りそうだった。やっぱり全部大切だと思う。



最初は、やっぱりお金のために働く大人が多いんじゃないかと思っていたけど、他にもいろいろな考えがあってもいいんじゃないかと思った。また、働く目的はみんな違っていいんじゃないかと思った。

4 実践事例

課題の設定

・地域の課題や魅力について探る。



親は少子高齢化が課題だ
って言っていたよ。

・課題解決の方法を探る。



江刺の少子高齢化を解決
するためにはどうすればい
いのかな？

江刺の魅力を全国に発信
すれば人が来るよ。



江刺には1箱100万する
江刺りんごがあるね。

情報の収集

・江刺りんごの秘密について調べる。



肌寒い...

大量のりんごがあるね



生産者だけでなくJAも貢献
しているんだな

整理・分析

・調べたことを視点をもって整理・分析する。



わい化栽培という特殊な
技法で育てています。

江刺独特の寒暖差のある
環境が甘いりんごを
作ります。



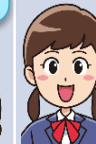
JAで厳しい選果基準が
あるから信頼度が高いそ
うです。

1箱100万円はプライ
スリーダーとしてご祝
儀価格で落札されてい
るそうです。

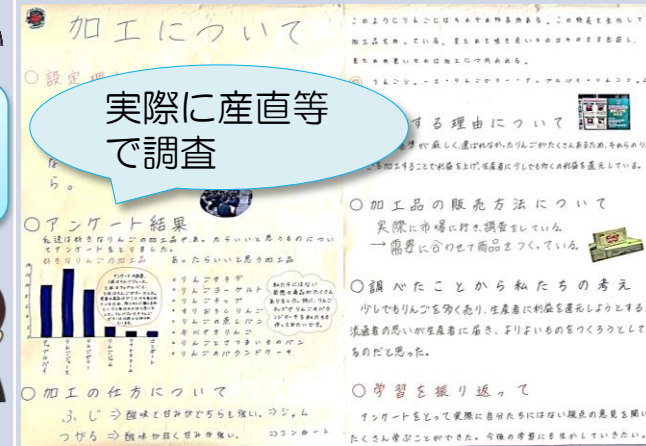


まとめ・表現

・調べたことを学級の仲間に伝えるために模造紙にまとめる。



私たちは加工という視点
で調べました。



実際に産直等
で調査

4 実践事例

課題の設定

・地域活性化プロジェクトの方法について探る。



どのようにして江刺の魅力を全国に伝えますか。



江刺の環境のよさをチラシにして伝えたい。

江刺りんごの食味や食感をCMにして作りたい。



江刺りんごを使って加工品を作りたい。



そのためにはどんなことを調べたいですか。



情報の収集, 整理・分析

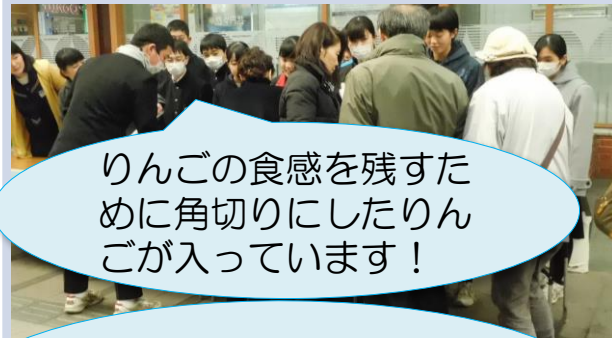
・それぞれの方法を実現するために必要なことを調べる。
・自ら生産, 全国・世界へ商品を展開している遠野市の農業経営者多田克彦さんの話からプロジェクトに活かせることを考える。



・試食会を開き, 地域の和菓子屋やJA職員にプレゼンし, プロジェクト内容を修正する。

まとめ・表現

・盛岡での販売活動を通して江刺の魅力を伝える。



りんごの食感を残すために角切りにしたりりんごが入っています!

近所の人にも「江刺いい所だから来てください」って言ってくれますか?



5 成果と課題

<成果>

- ① 育成を目指す資質・能力の明確化について
全体計画や各学年の年間計画を作成し、単元を構想する前に、育成したい資質・能力を明確することでより効果的に学習活動を組むことができた。
- ② 探究のプロセスを大切にした単元づくりについて
体験活動ありきの考え方から、探究のプロセスを意識的に位置づけ単元を再構成することで体験活動がより意図的・効果的な学習となった。
- ③ 振り返りの工夫について
単なる感想記入ではなく、視点を与えて振り返らせることで、単元や授業のねらいが達成できたか、生徒が実感をともなって理解できているかを確認することができた。

5 成果と課題

<課題>

- ・他教科との関連に偏りが見られた。全ての教科が意図的に関連付けられた教材の開発が必要である。
- ・生徒の課題意識に沿った探究的な学習の在り方を引き続き考える。
- ・3年間を見通してより系統性のある年間計画を作成する。

本研究はこれまでの体験活動を改めて探究という視点で見直し、整理したものです。活動自体は様々な中学校で行われているものですが、生徒の主体的な探究活動と一緒に教師も探究することで教師も生徒も予想を上回る人との出会いや学習につなげることができました。

引用・参考文献

- ・文部科学省「中学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編」東山書房
- ・文部科学省「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」教育図書
- ・「深い学び」田村 学 著 東洋館出版社